



平成 30 年度全国統一防火標語 「忘れてない？サイフにスマホに火の確認」

この防火標語は、火災予防思想をより広く普及させることを目的に、総務省消防庁と一般社団法人日本損害保険協会が行っているものです。

53回目を迎えた今回は、全国から18,151点の応募がありその中から、「忘れてない？サイフにスマホに火の確認」が選ばれました。身近にあるサイフやスマホのように、火の確認も忘れずに確認することを心がけましょう。

救助隊市長特別査閲

6月5日、当消防本部で救助隊市長特別査閲が実施されました。6月14日に開催された第45回茨城県消防救助技術大会に向けて、日々訓練している救助隊がそれぞれの種目を披露しました。



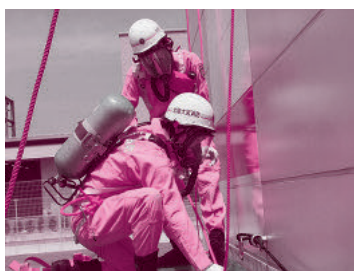
引揚救助



ロープブリッジ救出



ほふく救出



第45回茨城県消防救助技術大会に出場！！

6月14日に第45回茨城県消防救助技術大会が開催されました。当本部では、茨城県立消防学校で引揚救助とロープブリッジ救出、24日に当本部でほふく救出の種目に出場しました。

消防救助技術大会とは？

消防の精鋭部隊とされる救助隊が、県内の消防本部から集結し、陸上の部（8種目）、水上の部（8種目）に分かれて訓練を行う大会です。速さはもちろんのこと、正確さも重要視され、日々鍛えぬいた技術を競い合います。各種目で上位に入賞したチームは7月に東京で開催される関東地区指導会に出場でき、さらに上位に入賞したチームは、全国大会へ出場できます。今年度の全国消防救助技術大会は、8月に京都府で開催される予定です。（結果については次号でお知らせします。）

今大会出場した種目は3種目

◆引揚救助（標準所要タイム2分30秒）

5人1組（要救助者を含む）で、2人の隊員が空気呼吸器を背負って、高さ7mの壁を降り、意識のない要救助者を搬送して、塔の上にいる残り2人の隊員がロープで引揚げます。救出に向かった隊員も腕の力で登って脱出する訓練です。



◆ロープブリッジ救出（標準所要タイム1分15秒）

4人1組（要救助者を含む）で、水平に張られた20mのロープを渡り、要救助者をロープに吊り下げ、てけん引し、救出に向かった隊員も脱出する訓練です。



◆ほふく救出（標準所要タイム1分10秒）

3人1組（要救助者を含む）で、1人の隊員が空気呼吸器を背負って8mのトンネルをくぐって反対にいる要救助者に接触して、要救助者と一緒に脱出する訓練です。



■問い合わせ■
消防本部 ☎54-0119